

2021年5月26日

日本化学工業株式会社  
株式会社ADEKA  
富士化学株式会社

## 合弁会社「関東珪曹硝子株式会社」における崩落事故について（最終報告）

2021年3月8日（月）に、日本化学工業株式会社、株式会社ADEKA、富士化学株式会社の合弁会社である「関東珪曹硝子株式会社」工場内（茨城県神栖市東和田29）において清算に伴う解体工事の事前作業中に発生した崩落事故につきまして、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の方々に心からお悔やみ申し上げます。また、近隣の方々、お取引先をはじめ関係各位に多大なるご心配、ご迷惑をおかけしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

当該事故につきまして、関係当局の検証が終了し、取りまとめた再発防止策にもとづいて作業を再開いたしました。その後もその再発防止策が確実に実施されていることを確認いたしましたので、ご報告申し上げます。

会社清算に伴う今後の設備解体作業においても再発防止策を確実に実施し、引き続き安全最優先で取り組んでまいります。

### 記

#### 1. 発生日時／場所

2021年3月8日（月）午後2時半ごろ

茨城県神栖市東和田29 関東珪曹硝子株式会社 工場内

#### 2. 発生経緯

清算に伴う解体工事の事前作業中に製品保管用サイロ壁面に付着した製品（ガラス材料）が崩落し、協力会社作業員1名が巻き込まれる事故が発生しました。

その後救出し病院に搬送ましたが、医師による死亡が確認されました。

#### 3. 状況

関係当局による検証作業が終了し、規制が解除されたことを受けて、4月27日（火）より作業を再開しました。

#### 4. 再発防止策

関東珪曹硝子株式会社は本件に関する再発防止策を取りまとめました。

- リスクアセスメントの内容を多角的に見直す。
- 作業前のミーティングにて指示内容を作業者に的確に伝え、その理解を徹底させる。
- 作業者への安全教育やコミュニケーションの頻度を高め、安全意識の向上を図る。

以上

#### ■本リリースについてのお問い合わせ先

日本化学工業株式会社 経営戦略部 経営企画・IR 広報グループ Tel:03-3636-8060